

(4) 特別支援教育

- ア 児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、きめ細やかな指導を行うために、家庭や地域及び関係機関との連携を図り、学校生活支援シートや連携型個別指導計画を活用した支援を組織的・計画的に行う。
- イ 都立八王子特別支援学校、八王子西特別支援学校等との副籍交流の充実に向け、児童・生徒の実態に応じた可能な連携を図るほか、さまざまな障害についても体験的な学習を通して障害理解教育を推進する。
- ウ 小・中学校における特別支援教室での巡回指導（小学校：なかよし教室、中学校：フレンズみなみ野）を充実させるとともに、通常の学級における支援のあり方について、校内委員会をはじめとする関係会議や打ち合わせを通して教職員が共通理解を図り、日々の実践に活かしていく。

(5) 生活指導

ア 生活指導

- (ア) 児童・生徒一人ひとりに自己指導力を身に付けさせるために、生活のきまりや生徒心得に児童・生徒の意見を反映し、児童・生徒、地域の実情に応じて改善していく。
- (イ) セーフティ教室を年間1回設定し、どのような状況下にあっても、児童・生徒がその場面に合わせた行動ができるようにする。
- (ウ) 『生命（いのち）の安全教育』の手引きや「八王子市教育委員会『生命（いのち）の安全教育』」を基に、児童・生徒が性犯罪・性暴力の加害者・被害者、傍観者にならないための指導を児童・生徒の発達段階に応じて行うことで、自他の心身を大切にすることの大切さを育てる。

イ いじめ防止等の取組

- (ア) 学校いじめ対策委員会を設置し、週1回の関連する協議や活動を進めていく。学校全体で問題を共有するとともに、校内外の専門家と連携して組織的に対応する。特に初期対応の重要性について教職員が十分理解し、適切に問題の早期発見を図る。
- (イ) いじめ等の未然防止及び早期発見・対応に重点をおき、日頃から児童・生徒の小さな変化を見逃さないような教職員の意識を高める。また、年2回のふれあい月間でのいじめアンケートに加え、スクールカウンセラーによる全員面接を小学校第2学年（集団）、小学校第5学年（個人）及び中学校第1学年（個人）で実施するなどして、早期発見のための環境整備を行う。
- (ウ) 「八王子市いのちの大切さを共に考える日」の取組として特別の教科 道徳や学級活動を中心に命に関する授業を行う。また、いじめや差別を絶対に許さない授業を実践し、家庭・地域の信頼と協力を得る。

ウ 不登校児童・生徒への支援等

- 不登校児童・生徒に対しては、学校に係る健全育成の大きな課題の一つとして捉え、外部関係者・機関をはじめ、校内の教職員で組織的に未然防止・早期解決に取り組む。
- (ア) 登校支援コーディネーターを核として、登校支援スペースを設置し、不登校解消の糸口を探る。
- (イ) 子ども・若者育成支援センターとの迅速な接続と連携を図る。また、個票システムの活用による不登校傾向の児童・生徒の早期把握を行い、保護者との連携を強化する。さらに、スクールソーシャルワーカーとの協働については、これまでの経過・実践を更に発展させ、当該児童・生徒及びその保護者の困り感などに寄り添った取組を強化する。

(6) 特色ある教育活動

ア 義務教育9年間を見通した小中一貫教育の取組

- (取組1) 上級生としての自覚と上級生への憧れの気持ちを醸成するために、小学校第6学年と中学校第2学年による生徒会・部活動説明会などの活動を行う。
- (取組2) 学力定着プロジェクトチームを設置し、はちおうじっ子ミニマムなどの学力調査を協働で分析し、指導上の課題把握及び授業改善に取り組む。また、小学校修了までにどの学年で履修・定着の徹底を図るかを明確にし、その学年の学習内容を確実に定着させる。
- (取組3) 自主的に学び自立した児童・生徒を育てるため、特に家庭環境の把握、学習面、生活指導面の共通実践、規範意識の高揚や不登校対応など、中学校との円滑な接続を図る。
- (取組4) 地域の子供は地域で育てる意識を保護者・地域と共有するため、地域と協働した防災訓練、青少年対の清掃活動など、地域との連携を深める取組を行う。

イ 学力向上の取組

中学校第3学年での「はちおうじっ子ミニマム」を含む各種学力調査の結果を踏まえ各学年で学習すべき内容の完全習得をめざす。小学校・オリオンタイム、中学校・補習教室による基礎学力の底上げを図る。

ウ その他

- (ア) 義務教育9年間を見通した情報活用能力系統表を活用し、年3回の小中一貫教育の日において、実践したことを共有することを通して、みなみ野中学校グループの3校が連携しながら、児童・生徒のICT活用に関する資質・能力を育成する。また、小学校と中学校の連携を意識し、児童・生徒が自分の意見を書いたり、意見交流に活用できたりするなど、情報活用能力を向上させる。
- (イ) みなみ野小中学校レガシー2020の取組として、学校周辺及びみなみ野中学校グループの通学路を中心とした地域の清掃活動等を通してボランティアマインドを育む。
- (ウ) 地域主催の活動（清掃活動など）の案内の配布や掲示をするとともに、教職員の参加を促し、児童・生徒がすすんで参加できるようにする。また、児童・生徒の地域活動での取組を通知表に記入する欄を設け、家庭で記入してもらうことで学校の教育活動以外での児童・生徒の様子を把握し、必要に応じて励ましや賞賛をするなどして児童・生徒が自ら主体的に活動を行う原動力とする。
- (エ) 部活動改革として、本校の児童・生徒や近隣小学校でのアンケート結果を参考にしながら特色のある部活動を設置するだけでなく、広域部活動の充実、4つのカテゴリーの部活動の設置を「八王子市の部活動改革」がめざす方向性に基づき、ロードマップに則り、段階的に進めていく。
- (オ) 近隣の保育園、幼稚園などと連携してスタートカリキュラムを作成し、小1プロブレムの解消を図る。また、保幼小連携の日を活用し、連携保育園児、幼稚園児の情報を交換し、相互理解を推進する。